

# 第67回広島県高等学校総合体育大会バスケットボールの部

試合日	平成26年6月8日
開始時間	11:00~
会場	県立総合体育館
コート	M
試合順	第1試合(決勝)

TeamA:		TeamB:
広島皆実	8 - 13 8 - 14 24 - 20 15 - 14	広島観音
55		61

## TeamA: 広島皆実

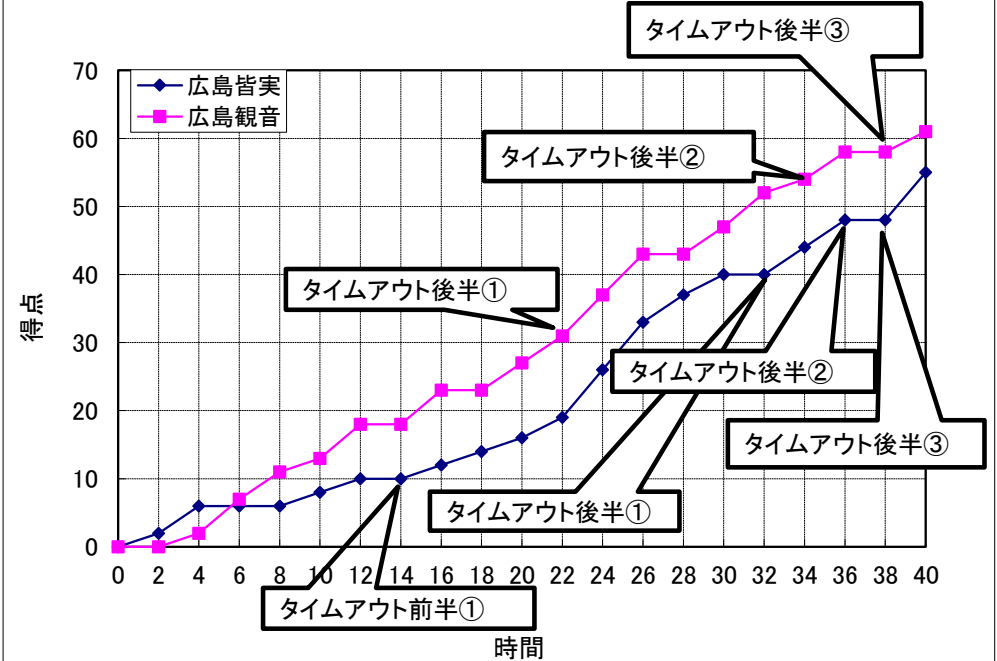
No	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F
				M	A	M	A	M	A	
4	x	池岡理菜	19	1	5	7	17	2	5	5
5	x	飯田美久	9	0	3	3	13	3	6	3
6	x	安達美咲	11	0	3	4	12	3	4	3
7	x	久保佑美	9	3	10	0	7	0	0	2
8		高野千晶	0							
9		平田千絵	0							
10		武田葉菜	0							
11		澤村朋香	3	1	2	0	0	0	0	1
12		小松晶	0							
13		直原朱里	0							
14		出野友佳	0							
15	x	竹内優香	4	0	3	2	5	0	0	0
16		井上美優	0							
17		高松真瑚	0							
18		高橋愛実	0							
Coach		村井幸太郎								
合計			55	5	26	16	54	8	15	14
			RATE	19.2%	29.6%	53.3%				

## TeamB: 広島観音

No	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F
				M	A	M	A	M	A	
4	x	佐々木智彩	8	2	5	1	2	0	0	2
5		高島葉月	7	1	1	2	2	0	0	1
6		秋田帆乃佳	0							
7	x	橋本あやな	6	0	0	3	5	0	0	1
8		野村真帆	0							
9		福原薫花	10	0	0	4	9	2	4	4
10		岡本あかり	0							
11	x	山田莉々	18	0	0	9	19	0	0	3
12		木村明日香	0							
13		小松葉奈	0							
14	x	園田祥子	8	2	6	1	7	0	0	4
15		満足星華	0							
16		藤本玲菜	0							
17		西林希奈	0							
18	x	飯山佳奈	4	1	1	0	3	1	2	0
Coach		杉原繁								
合計			61	6	13	20	47	3	6	15
			RATE	46.2%	42.6%	50.0%				

広島県高体連バスケットボール部[公式ボックス・スコア]

### 2分ごとの得点推移



### 【戦評】

記入者 津村 茂

広島皆実④⑤⑥⑦⑮、広島観音④⑦⑩⑭⑱、両チームマンツーマンで開始する。皆実は mismatch を利用し、⑤⑥が攻める。観音はインサイド⑦⑩にボールを集め、起点を作る。観音は⑦のハイポストからのドライブが立て続けに決まる。皆実も序盤はミドルシュートが入るが、ドライブからのミスが目立ち、観音がブレイクからアーリーで加点し、8-13と観音リードで第1P終了。

第2Pもともにマンツーマンで開始する。開始⑩のリバウンドショット、⑭の3Pで8点差とする。両チームともミスが続き、得点が止まるが、観音がブレイクで10点差としたところで皆実がタイムアウト。タイムアウト後、皆実は④のドライブ⑥のポストプレイで加点するが、観音は⑩のブロックショット、ゴール下シュート、⑨とのハイローで着実に加点する。第2Pは16-27と観音リードで終了。

第3P、皆実④のリバウンドショット、⑦の3P、観音はあわせからの⑩のジャンプショットで得点する。皆実が④⑤のドライブ、④のスティールからブレイクで追い上げ、7点差としたところで観音がタイムアウト。皆実はスティールから速攻、フリースロー後に1-1-2-1ゾーンプレスを仕掛ける。ハーフコートでは1-1-3のゾーンを仕掛け、流れを変えようとするが観音④⑤の3Pが立て続けに決まる。対する皆実は④⑥⑦の思い切りのよい3Pで追い上げる。第3Pは点の取り合いとなり、40-47と観音リードで終了。

第4P、ともにマンツーマンで開始。観音のブレイクが立て続けに決まるが、皆実も⑦の3Pで追いかける。残り7分、観音はディフェンスを2-1-2のゾーンに変える。観音は⑩の安定したディフェンスリバウンドからゲームをコントロールする。残り6分、観音⑨レイアップへ皆実がファウルを起こしたところで皆実がタイムアウト。フリースロー後、観音2-2-1からのプレスを仕掛ける。また、観音はダウンスクリーンからのハイローでオフェンスを組み立てる。なかなか点差が詰まらず、残り3分48-58と観音リードで皆実がタイムアウト。両チームともにディフェンスをマンツーマンに戻す。皆実④へのファウルでチームファウルのフリースローから、皆実は前からプレスを仕掛け、3Pなどで追い上げ残り1分で5点差。しかし、観音⑤がジャンプショットを決めるなど落ち着いてゲームをコントロールし、55-61で試合終了。

広島観音が4年ぶり2回目のインターハイ出場を決めた。決勝戦にふさわしい白熱した試合であった。

主審	神田亮一	1副審	大谷英紀	2副審	竹内智己
----	------	-----	------	-----	------